

場所や時間、スタイルも様々、イマドキの学び

『空き時間を有効活用したい、地域で学びたい、流行りの場所で学びたいという人に』

朝活・夜活

通学や通信などにとられない
新たな学びの形

「朝活」「夜活」という言葉をご存じですか？ ビジネスパーソンを中心に発生したもので、出勤前の早朝やアフターファイブの数時間を有効活用して、自分磨きに生かそうという、新たな学びの形です。

朝活で人気があるのは読書会や英会話、ヨガなど。目覚めたばかりの頭でいきなり難しい勉強をするのは大変ですが、カフェでお茶を飲んだり簡単な朝食をとりながら好きな本について語り合うなど、頭のウォーミングアップになるくらいの朝活が人気です。気持ちをリラックスさせたり集中力を高める座禅なども注目を集めています。また、土曜日の午前中を習いごとなどの学びの時間に活用



週末の夜を中心に読書会を開催する「猫町倶楽部」。課題図書を読了したうえで集まり、感想を話し合います

している人も多いようです。

退社後の夜活としては、習いごとや授業などの勉強だけでなく、人脈作りにもつながる異業種交流会もあります。ネットなどで調べて興味をひく会合があれば、積極的に参加してみてもいいかもしれません。ときには遅くまで開いている美術館や映画館で感性を磨くのもいいかもしれません。

生涯学習センター

地元のことを深く学び
郷土愛を育む

私たちの生活に最も身近な学びの場としては、地方自治体が設置する生涯学習センターもあります。生涯学習の情報や資料を提供したり、学習や交流の場として機能するのはもちろん、様々なイベントなども開催されています。さらには、講師や指導者を養成する講座を開講していると

ころもあります。

地域の歴史や文化、自然などに関する情報を学べる、地元ならではの講座を設けているところも多くあります。子どもから大人まで、年齢を問わず幅広く学ぶことができ、異世代交流も積極的に行われています。

千葉市生涯学習センターでは、地域の魅力を再発見する「ちばカレッジ」や、親子で参加する「パパと遊ぼう」などを開催。地域の人が講師を務める、子ども向けの講座もあります。生涯学習センターがない地域でも、自治体が講座を開催しているケースもありますので、各自治体の役所や自治体の広報誌をチェックしてみましょう。



「パパと遊ぼう」のコーナー。親子のスキップを図ることもできます